

就職ジャーナル版 『就職白書 2005』

『2007年3月卒業予定者の採用に関するアンケート』【企業回答】
『2006年3月卒業予定者の就職活動に関するアンケート』【学生回答】から見る
就職・採用活動状況のまとめ

株式会社リクルート
就職ジャーナル編集長 渡邊 貴代

この度、就職ジャーナル編集部では、採用・就職活動について、企業と学生に向けて調査を行いました。企業については、2006年3月卒業予定者の採用実施状況および、2007年3月卒業予定者の採用予定や採用手法等について調査。同時に、学生についても、2006年3月卒業予定者に活動状況調査を実施。その調査結果がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。

調査結果の概要

07卒採用人数「増加」企業は、引き続き増える見通し 一方、質的充足重視の傾向も続く見通し【企業回答】（詳細はP.3、4、6）

07卒新卒採用予定人数の見通しについて、「増加」企業(17.8%)が、「減少」企業(3.3%)を上回っている。昨年度も同じように「増加」(14.8%)が「減少」(3.1%)を上回っていたが、本年度はより「増加」の割合が大きい。増加の理由として、「全社的な人員増員」(56.6%)「業績好調(の見込み)」(28.9%)「退職者の増加(の見込み)」(27.6%)が上位にあげられており、景気回復や団塊世代の大量退職(2007年問題)による人材ニーズの増加から、新卒採用意欲が高まっていることが見てとれる。

一方、60.4%の企業が「たとえ採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない」と回答しており、質的充足を重視する傾向は続くといえる。

「求める人材レベルは下げない」と回答した企業に、採用数が満たされない場合の不足分の補充方法をきいたところ、「中途採用」(50.3%)「第二新卒」(15.8%)「留学生」(5.0%)「正社員採用以外」(15.1%)から補充するとの回答が、昨年度回答よりそれぞれ2.8、3.7、1.5、1.6ポイント増加。人材調達手法を多様化することで、高まる人材ニーズに対応しようとする動きもあるようだ。

また、07卒採用スケジュールの見通しについて、「早まる」企業は28.1%と、昨年度回答(17.3%)を上回っている。早まる理由として、「より優秀な人材の確保」が昨年度に引き続き78.2%に達したほか、「競合対策」(50.2%)が11.4ポイント増加。求人意欲の高まりに伴い、採用活動が過熱するとの見通しの中、採用スケジュールを早めることで対応しようとしている企業が増えていると考えられる。

06卒採用における内定辞退の増加【企業・学生回答】（詳細はP.7、9）

06卒採用人数について、「計画より若干少ない」「計画よりかなり少ない」が合わせて35.0%を占める中、採用数が計画より少なかった理由のうち、「内定辞退が予定より多かった」が43.6%と、昨年度回答(35.6%)より増加している。このように、内定辞退者の増加は、企業の採用計画割れの主な原因となっており、企業にとって悩める課題の一つとなっている。

内定を取得している学生のうち、内定社数が「1社」の学生は40.2%と、昨年度回答(45.4%)より減少。一方、複数社の内定を取得する学生は増え、内定取得社数平均は2.20社となっている。また、内定取得者のうち内定辞退を行った学生は60.2%で、昨年度回答(56.0%)より多くなっている。

【本件に関するお問い合わせ先】

http://www.recruit.co.jp/corporate/support/inquiry_press.html

INDEX

INDEX・調査概要

07卒新卒採用に関する見通し

a) 新卒採用数増減の見通しとその理由 [企業回答]

P.3

b) 採用数に満たなかった場合の対処と新卒および中途の採用予定 [企業回答]

P.4

c) 新卒採用における強化ポイント [企業回答]

P.5

d) 新卒採用スケジュールの見通し [企業回答]

P.6

06卒新卒採用に関する状況

a) 新卒採用計画の結果 [企業回答]

P.7

b) 実施した採用方法 [企業回答]

P.8

c) 内定辞退の現状 [学生回答]

P.9

06卒新卒採用における企業と学生のギャップ

a) 企業の採用アピールと学生の選社基準、企業の採用基準と学生のアピール項目 [企業回答] [学生回答]

P.10

b) 学生の自己評価と企業の学生評価、学生が知りたかった企業情報 [企業回答] [学生回答]

P.11

【付録】参考データ

P.12

調査概要

【企業回答】

『2007年3月卒業予定者の採用に関するアンケート』

調査対象：全国の主要企業4,493社

調査方法：郵送法

集計社数：891社

調査期間：2005年9月16日～10月7日

参考：業種別の回答企業シェア

全体合計	891	100.0%
メーカー計	351	39.4%
商社計	102	11.4%
百貨店・スーパー・専門店計	110	12.3%
金融計	62	7.0%
建設・不動産計	60	6.7%
出版・報道・広告計	16	1.8%
情報・通信計	71	8.0%
サービス計	119	13.4%

参考：従業員規模別の回答企業シェア

全体合計	891	100.0%
100人未満	39	4.4%
100～299人	138	15.5%
300～999人	308	34.6%
1000～4999人	316	35.5%
5000人以上	90	10.1%

【学生回答】

『2006年3月卒業予定者の就職活動に関するアンケート』

調査対象：2006年3月卒業予定の全国4年制大学生

男女17,371名

(リクナビ会員より無作為抽出)

調査方法：インターネット調査

集計人数：1,691名

調査期間：2005年9月16日～10月5日

【昨年度企業回答】

『2006年3月卒業予定者の採用に関するアンケート』

調査対象：全国の主要企業4,500社

調査方法：郵送法

集計社数：1,050社

調査期間：2004年9月17日～10月8日

【昨年度学生回答】

『2005年3月卒業予定者の就職活動に関するアンケート』

調査対象：2005年3月卒業予定の全国4年制大学生

男女15,073名

(リクナビ会員より無作為抽出)

調査方法：インターネット調査

集計人数：1,546名

調査期間：2004年9月17日～10月6日

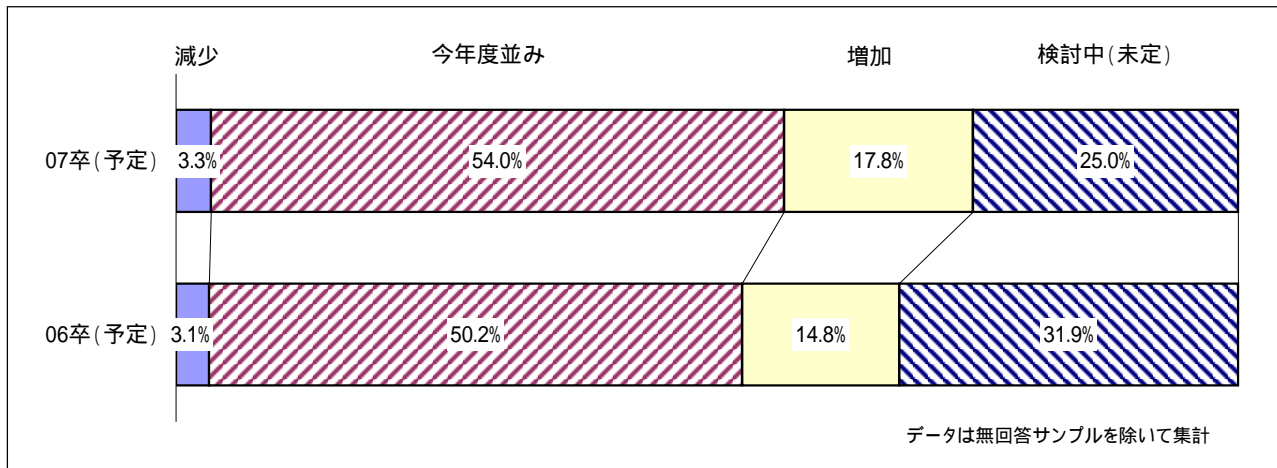
07卒新卒採用に関する見通し

a) 新卒採用数増減の見通しとその理由【企業回答】

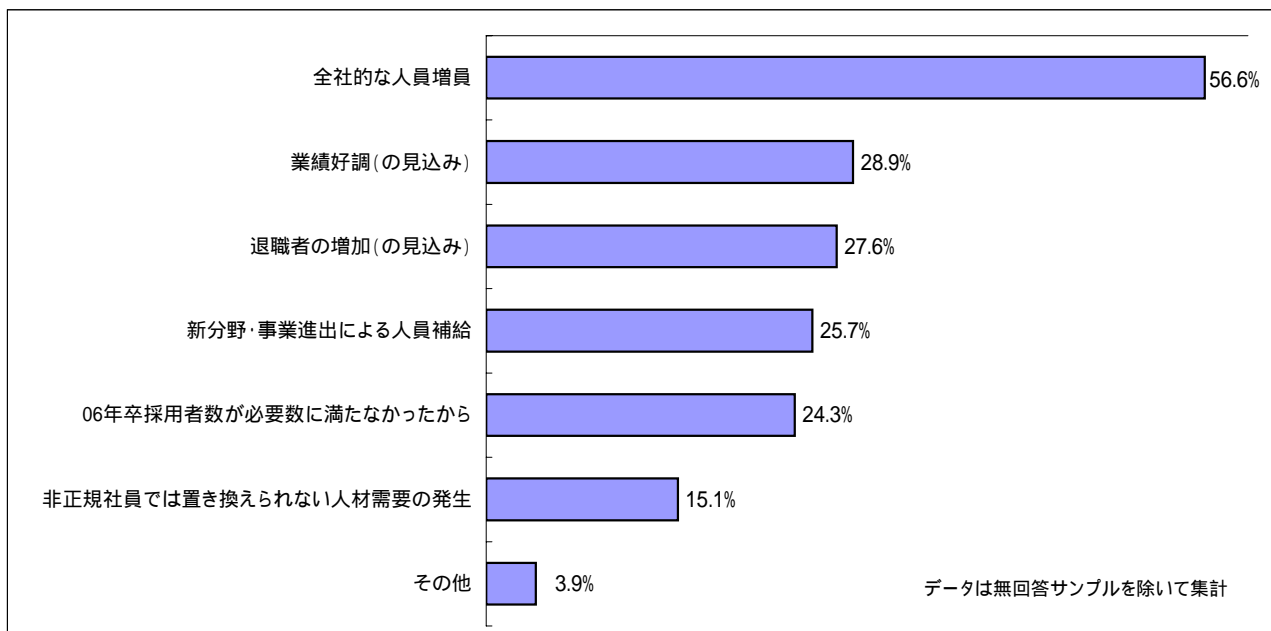
07卒新卒採用人数の見通しについて「増加」企業（17.8%）が、「減少」企業（3.3%）を上回っている。昨年度回答（06卒採用予定人数）においても、同様に「増加」が「減少」を上回っていたが、本年度回答（07卒採用予定人数）ではより「増加」の割合が大きく、企業の新卒採用意欲はさらに高まっているといえる。増加の理由としては、「全社的な人員増員」「業績好調（の見込み）」「退職者の増加（の見込み）」が上位にあげられており、景気回復や団塊世代の大量退職（2007年問題）による人材ニーズの増加から、新卒採用への意欲が高まっていることが見てとれる。

07卒採用予定人数の見通し

（単一回答 07卒（予定）：N = 861、06卒（予定）：N = 1004）



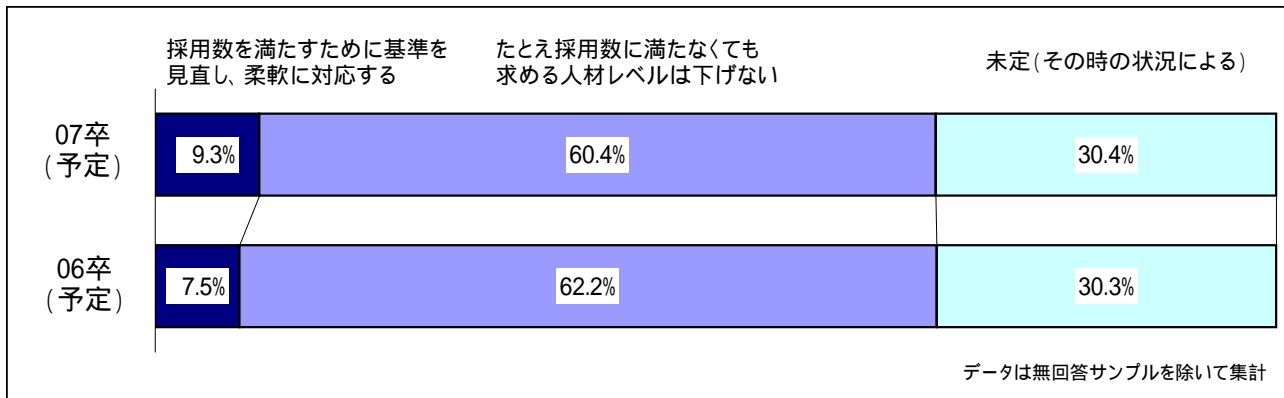
07卒採用予定人数増加の理由 07卒(予定)で「増加」と答えた企業のみ
（複数回答 N = 152）



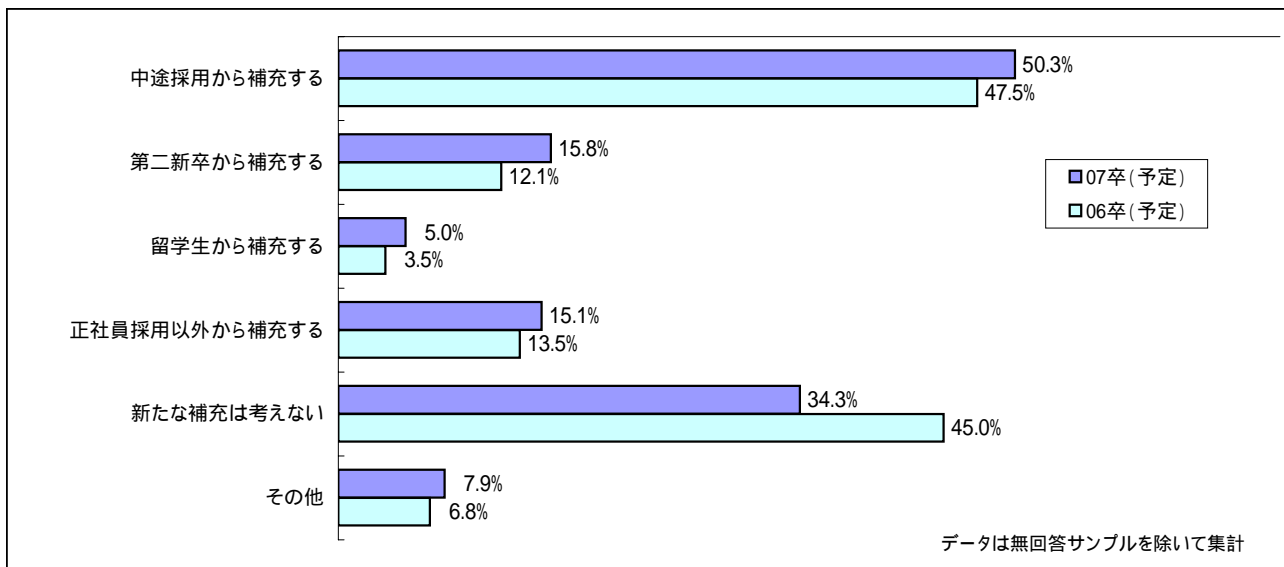
b) 採用数に満たなかった場合の対処と新卒および中途の採用予定【企業回答】

07卒新卒採用に関して、60.4%の企業が「たとえ採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない」と回答しており、質的充足を重視する傾向は続くといえる。
 「求める人材レベルは下げない」と回答した企業で、採用数が満たされない場合の不足分の補充方法として、「中途採用」(50.3%)「第二新卒」(15.8%)「留学生」(5.0%)「正社員採用以外」(15.1%)から補充するとの回答が、昨年度回答よりそれぞれ増加。人材調達手法を多様化することで、高まる人材ニーズに対応しようとする動きもあるようだ。

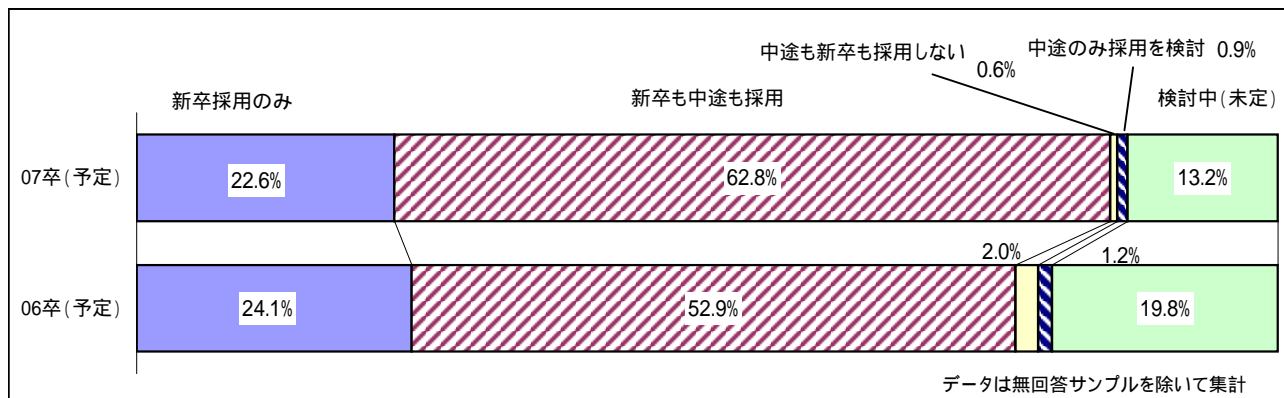
07卒の新卒採用数が満たされない場合の対応 (単一回答 07卒(予定): N = 787, 06卒(予定): N = 911)



07卒の新卒採用数が満たされない場合の不足分の補充方法 (複数回答 07卒(予定): N = 443, 06卒(予定): N = 547) 上記で「求める人材レベルは下げない」と回答した企業のみ



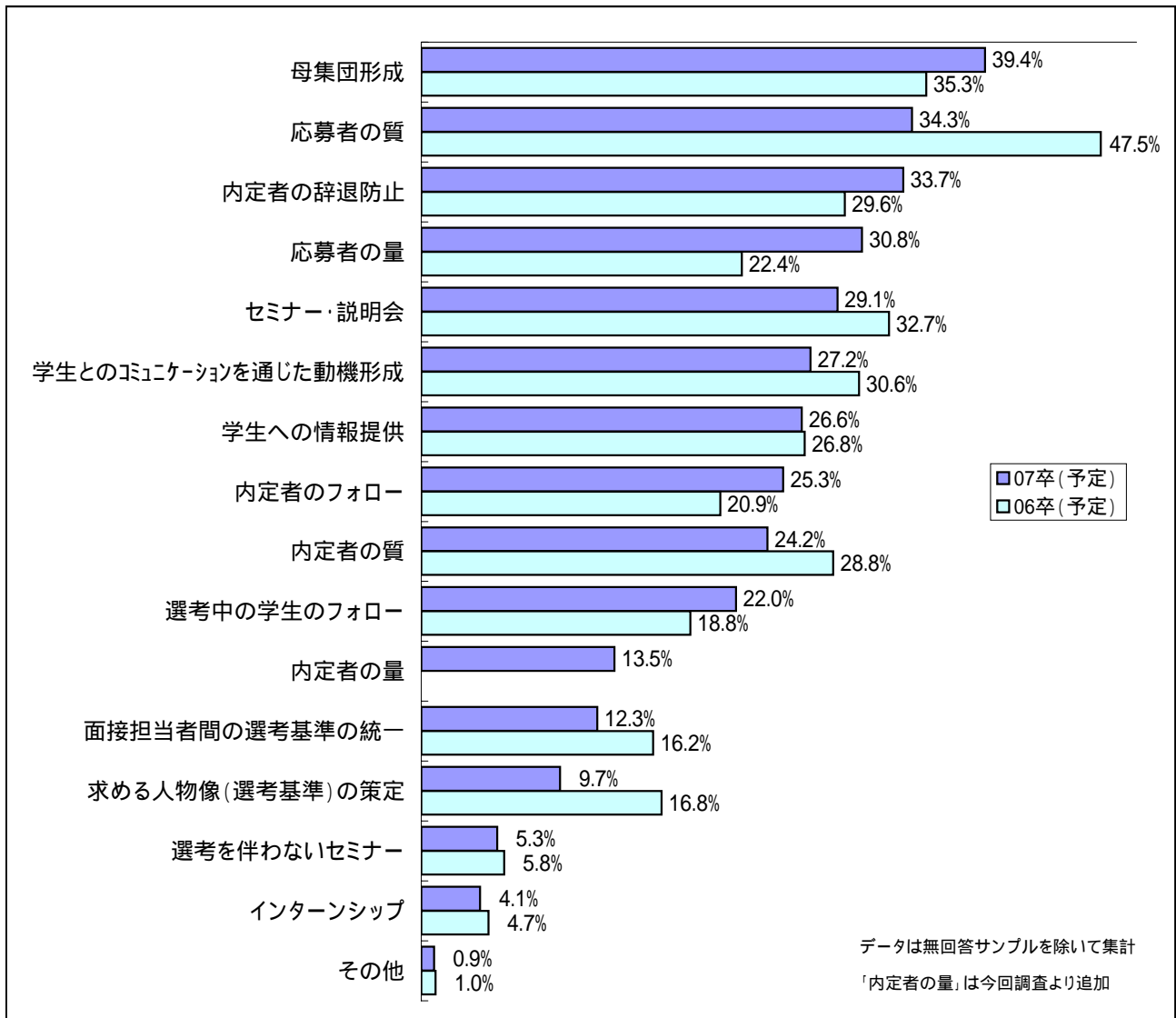
07卒新卒および中途の採用予定 (単一回答 07卒(予定): N = 873, 06卒(予定): N = 1030)



c) 新卒採用における強化ポイント【企業回答】

07卒新卒採用において力を入れたい項目は、「母集団形成」「応募者の質」「内定者の辞退防止」が上位にあげられており、量・質を同時に追求していくという企業の姿勢が見てとれる。ただし、昨年度回答からの変化を見ると、「応募者の量」「内定者のフォロー」「母集団形成」「内定者の辞退防止」が増加している一方、「応募者の質」「求める人物像の策定」「内定者の質」は減少しており、強化ポイントとしては質より量が重視されているようだ。

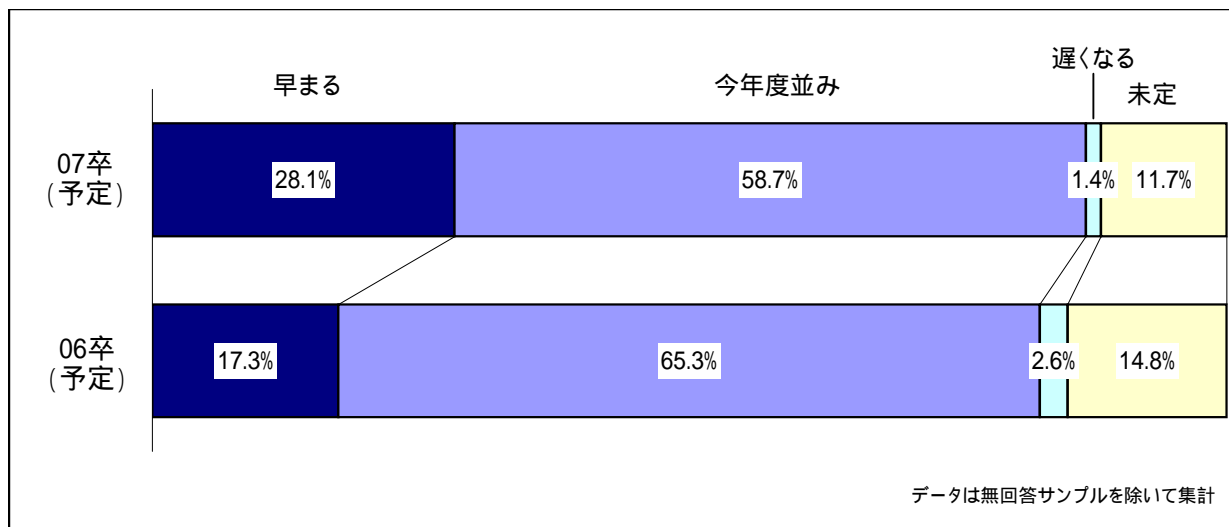
07卒新卒採用において、今後力を入れたい項目
 (複数回答 07卒(予定): N = 772, 06卒(予定): N = 914)



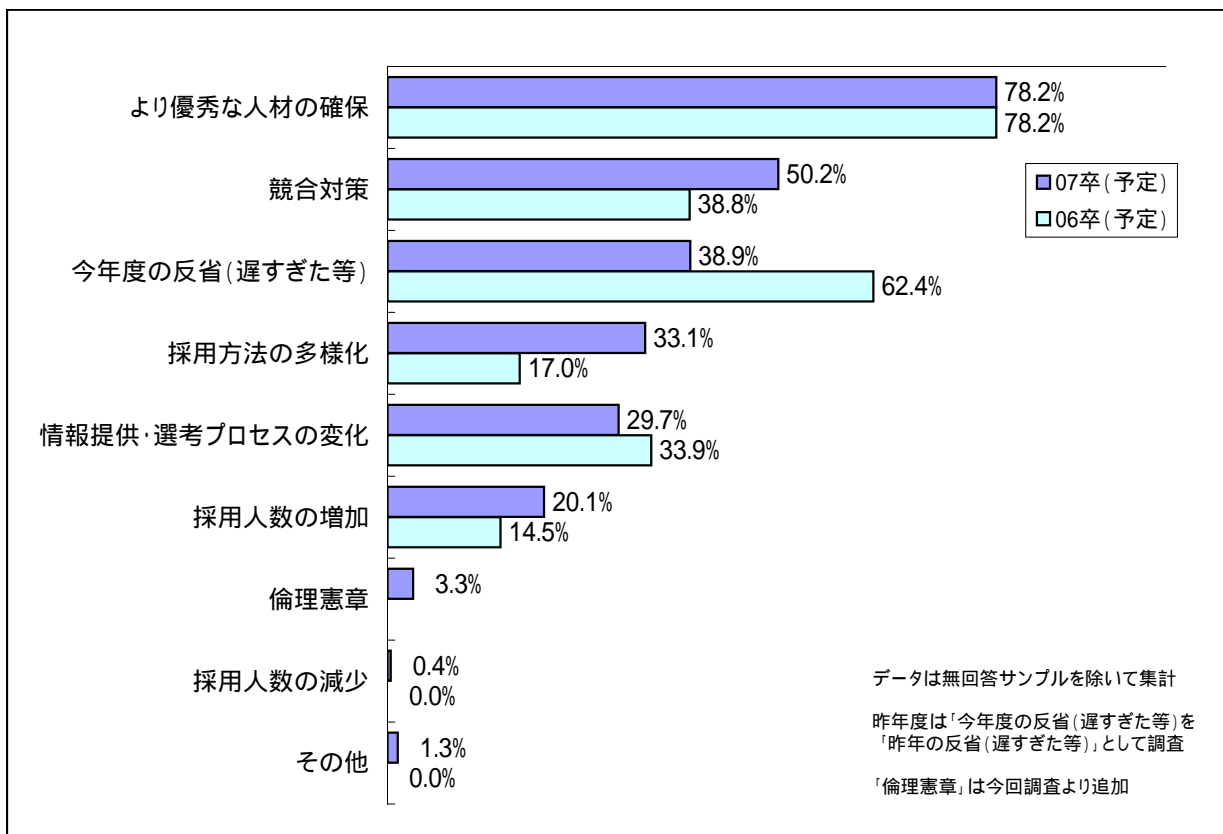
d) 新卒採用スケジュールの見通し【企業回答】

07卒採用スケジュールの見通しについて、「早まる」企業は28.1%と、昨年度回答（17.3%）を上回っている。早まる理由として、「より優秀な人材の確保」が昨年に引き続き78.2%に達したほか、「競合対策」（50.2%）が11.4ポイント増加。求人意欲の高まりに伴い、採用活動が過熱するとの見通しの中、採用スケジュールを早めることで対応しようとしている企業が増えていると考えられる。

07卒の新卒採用スケジュールの見通し
(単一回答 07卒(予定): N = 860, 06卒(予定): N = 1007)



07卒の新卒採用スケジュールが早まる背景 上記で「早まる」と回答した企業のみ
(複数回答 07卒(予定): N = 239, 06卒(予定): N = 165)

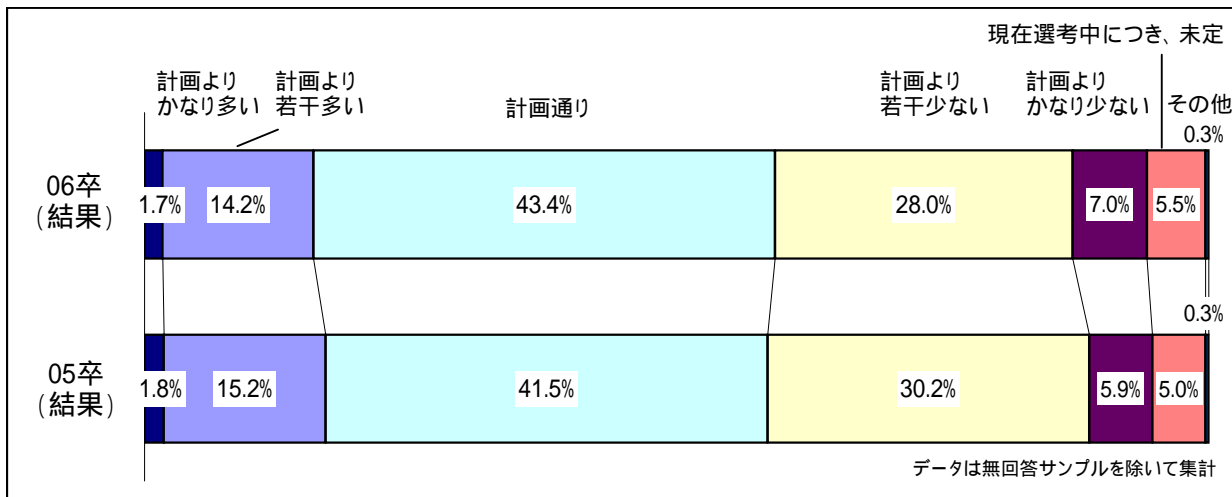


06卒新卒採用に関する状況

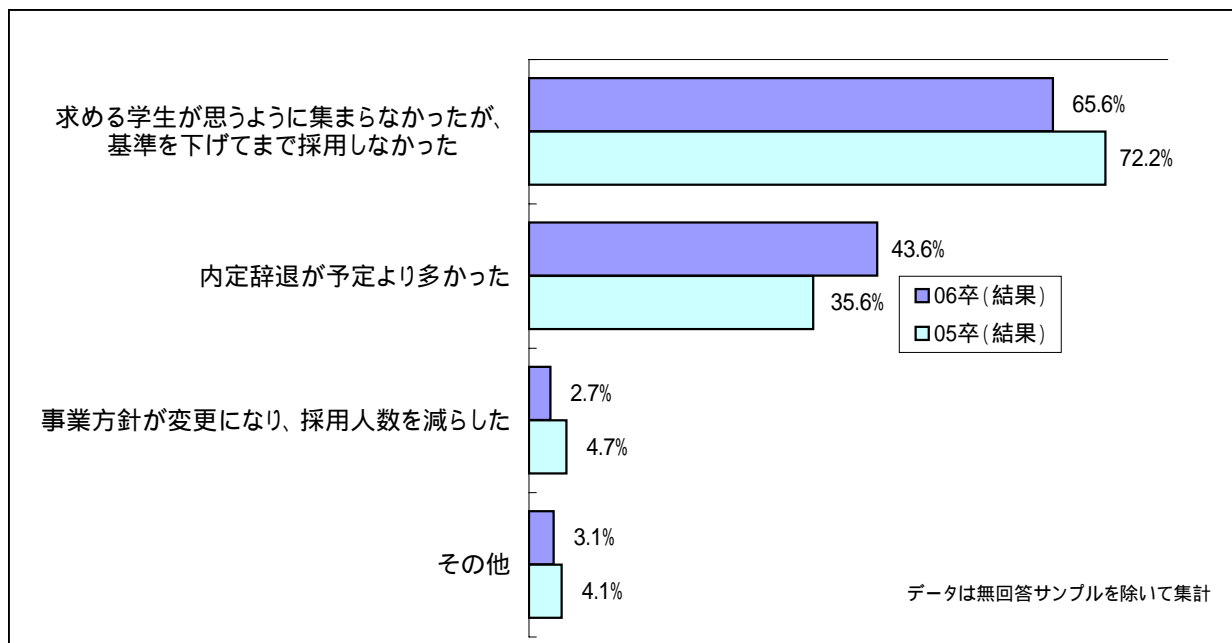
a) 新卒採用計画の結果【企業回答】

06卒採用人数について、「計画より若干少ない」「計画よりかなり少ない」が、合わせて35.0%を占める中、採用数が計画より少なかった理由のうち、「求める学生が思うように集まらなかったが、基準を下げてまで採用しなかった」は65.5%と昨年度回答（72.2%）より減少している。一方で「内定辞退が予定より多かった」が43.6%と昨年度回答（35.6%）より増加している。

06卒の採用人数は計画通りだったか
 (単一回答 06卒(結果): N = 769, 05卒(結果): N = 867)



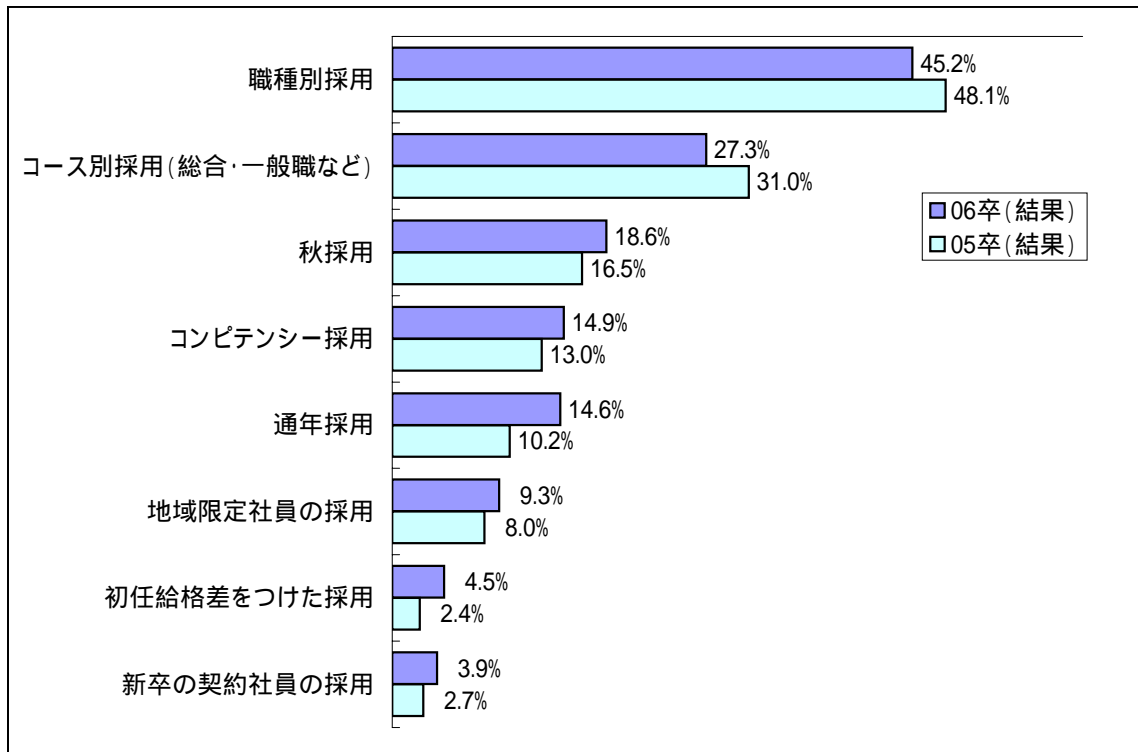
06卒の新卒採用で、採用数が計画より少なかった理由 上記で「計画より若干少ない」「計画より少ない」と回答した企業のみ
 (複数回答 06卒(結果): N = 259, 05卒(結果): N = 295)



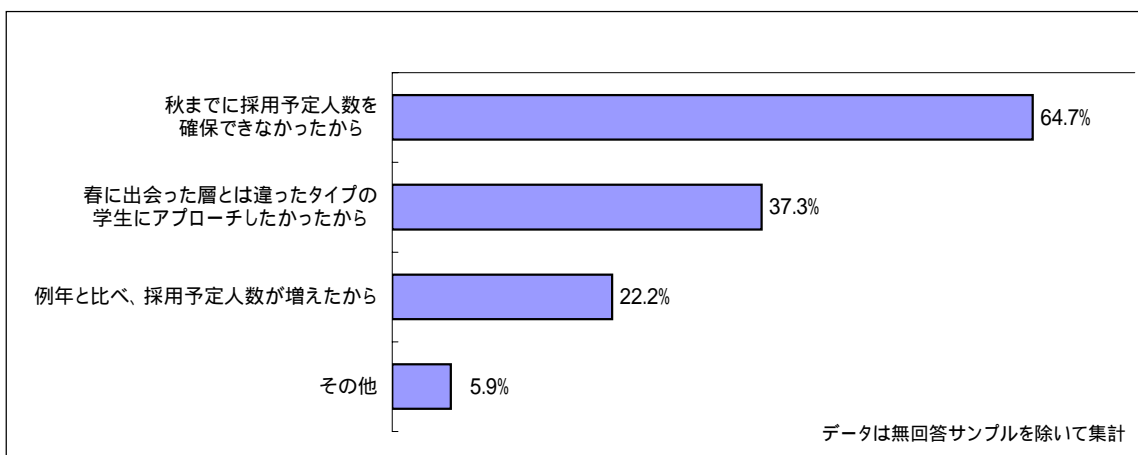
b)実施した採用方法【企業回答】

06卒採用において、「秋採用を実施した」企業は18.6%で、昨年度回答（16.5%）より微増。秋採用の実施理由は、「秋までに採用予定人数を確保できなかったから」が64.7%とトップとなっている。また「通年採用を実施した」企業が14.6%と、昨年度回答（10.2%）より増加。秋採用と合わせて、採用活動期間をフレキシブルに考える企業が増えている。

06卒採用で実施した採用方法 上位8位まで 06卒採用を実施した企業のみ
(複数回答 06卒(結果): N = 843、05卒(結果): N = 969)



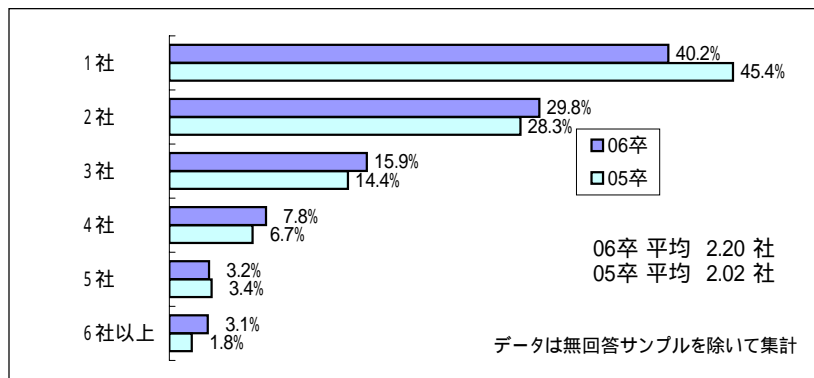
06卒採用で秋採用を実施した理由 秋採用を実施した企業のみ
(複数回答 N = 153)



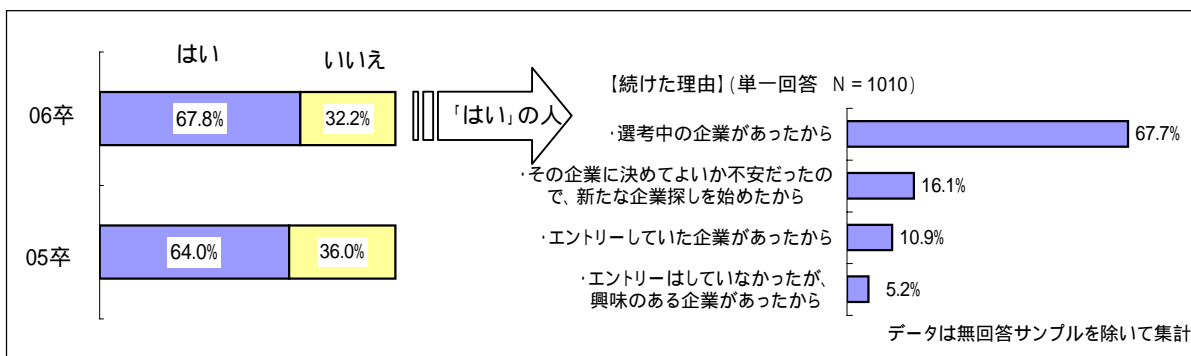
c) 内定辞退の現状【学生回答】

内定を取得している学生のうち、内定社数が「1社」の学生は40.2%と、昨年度回答（45.4%）より減少。複数社の内定を取得する学生が増え、内定取得社数平均は2.20社となっている。また、内定取得者のうち内定辞退を行った学生は60.2%で、昨年度回答（56.0%）より多くなっている。一方で、「内定辞退者の予定以上の増加」は、企業側の採用計画割れの主な原因（43.6%）となっており、企業にとって悩める課題の一つとなっている。（p7 06卒採用数が計画より少なかった理由 参照）「選考中の学生に対する動機形成」と「内定者フォロー」の重要性が、今後さらに増してくると考えられる。

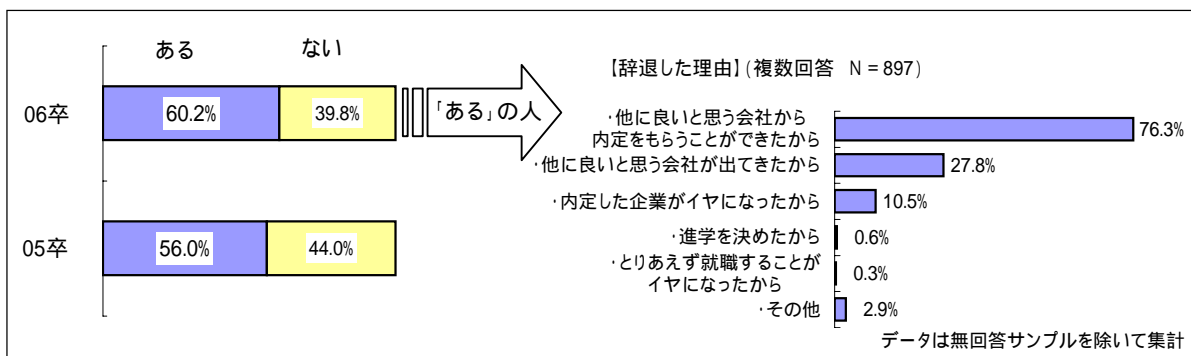
内定社数 内定を取得した学生のみ
 (単一回答 06卒: N = 1487, 05卒: N = 1345)



1つめの内定取得後も就職活動を続けたか 内定を取得した学生のみ
 (単一回答 06卒: N = 1492, 05卒: N = 1346)



内定辞退した企業はあるか 内定を取得した学生のみ
 (単一回答 06卒: N = 1492, 05卒: N = 1341)

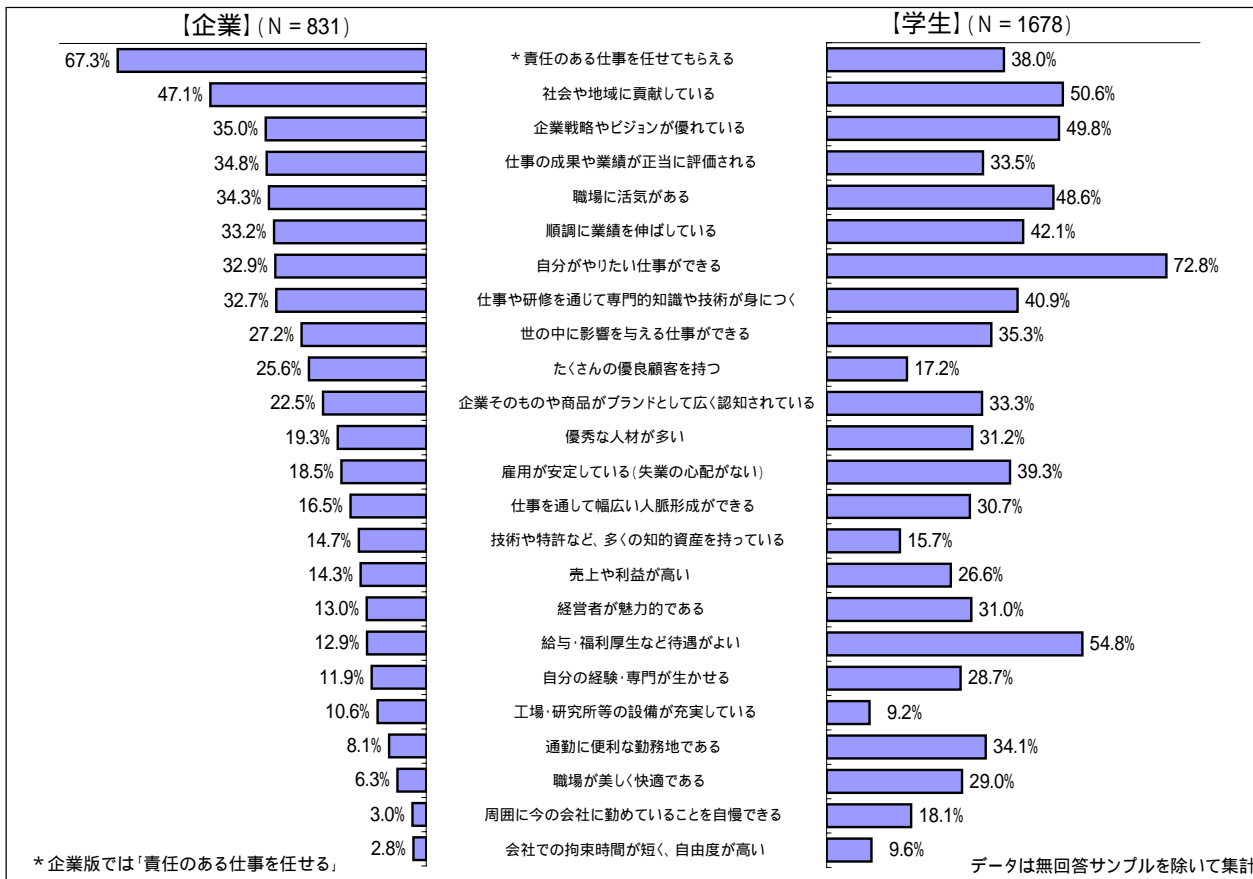


06卒新卒採用における企業と学生のギャップ

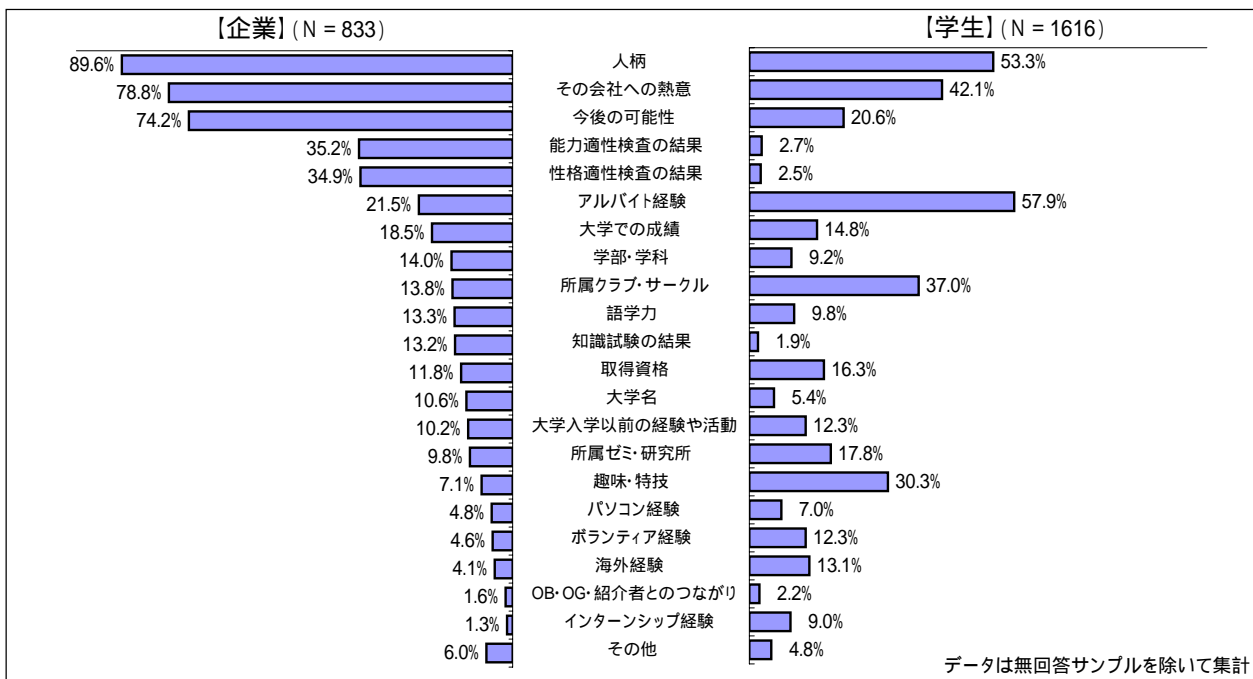
a) 企業の採用アピールと学生の選社基準、企業の採用基準と学生のアピール項目【企業・学生回答】

企業の採用アピールと学生の選社基準にはギャップがある。今年度回答では、学生の選社基準において、「給与・福利厚生など待遇がよい」が54.8%で2位となり（昨年度回答は49.4%で3位）実利を重視する学生像が見てとれる。また、企業の採用基準と学生のアピールポイントにもギャップがある。「人柄」や「可能性」をみようとする企業と「経験」を語ろうとする学生の間ギャップはいまだ埋まっていない。

採用アピールの際、重視した項目【企業】と、志望企業の選社基準【学生】（ともに複数回答）



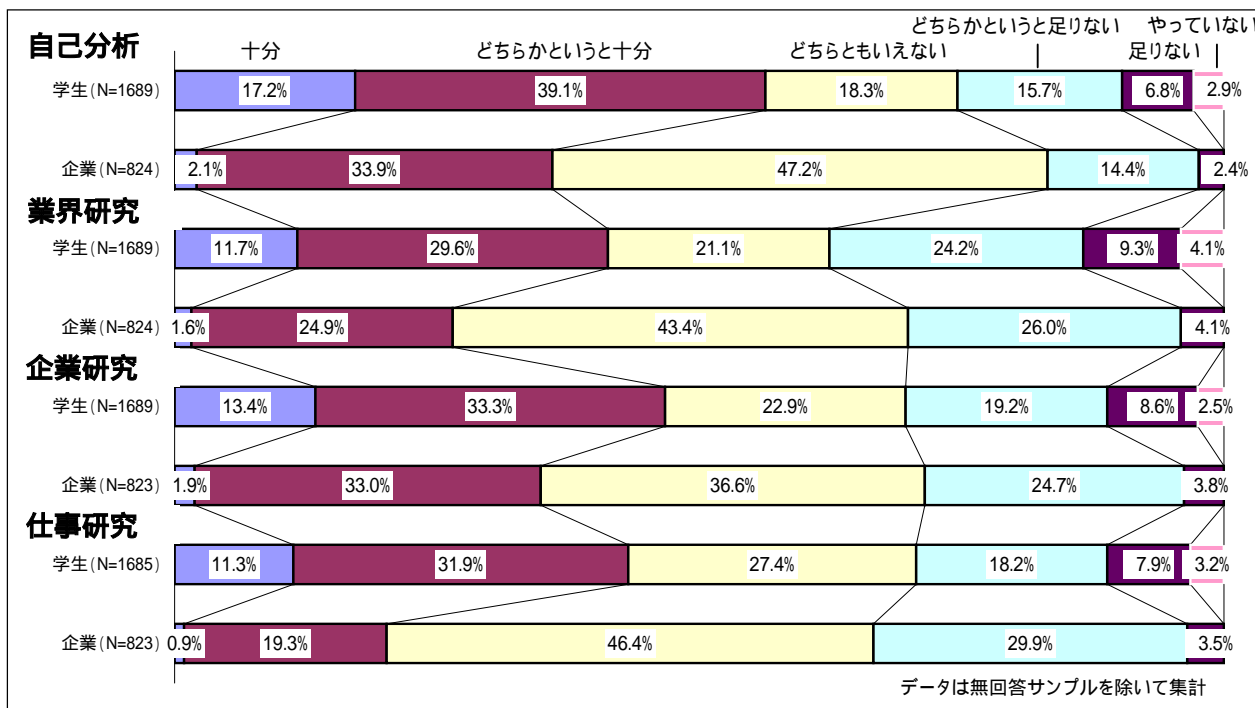
採用基準で重視する項目【企業】と、面接でのアピールポイント【学生】（ともに複数回答）



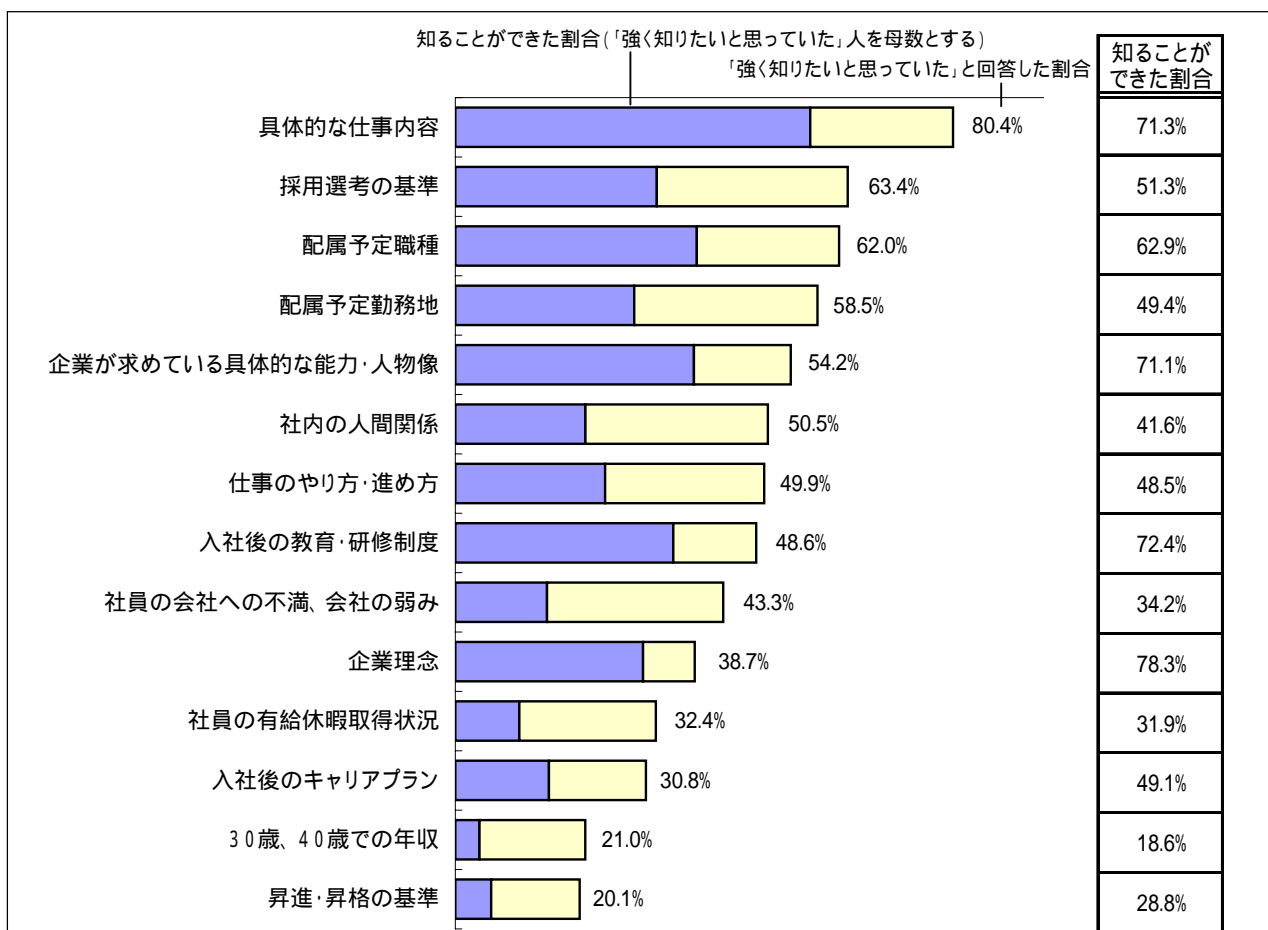
b) 学生の自己評価と企業の学生評価、学生が知りたかった企業情報【企業・学生回答】

学生の自己評価と企業の学生評価にもギャップがある。特に「仕事研究」において、そのギャップが大きい。学生が強く知りたと思っていた上位5項目「具体的な仕事内容」「採用選考の基準」「配属予定職種」「配属予定勤務地」「企業が求めている具体的な能力・人物像」のうち、実際知ることができた割合が6割を超えているのは、「具体的な仕事内容」「配属予定職種」「企業が求めている具体的な能力・人物像」の3項目である。

学生の自己評価と企業の学生評価（単一回答）



強く知りたと思っていた項目と知ることができた割合（N = 1691）



【参考データ】

【業種別】07卒採用予定人数の見通し

	減少			今年度並み			増加			検討中(未定)		
	全体	文科系	理科系	全体	文科系	理科系	全体	文科系	理科系	全体	文科系	理科系
メーカー	2.1%	4.2%	3.0%	55.4%	51.1%	51.2%	15.8%	11.2%	15.1%	26.7%	33.5%	30.7%
商社	4.1%	5.1%	4.5%	61.2%	56.1%	51.1%	17.3%	14.3%	14.8%	17.3%	24.5%	29.5%
百貨店・スーパー・専門店	8.6%	4.0%	3.5%	50.5%	48.5%	48.8%	21.0%	15.8%	12.8%	20.0%	31.7%	34.9%
金融	3.3%	5.1%	4.1%	50.8%	50.8%	53.1%	9.8%	10.2%	4.1%	36.1%	33.9%	38.8%
建設・不動産	1.8%	2.0%	1.9%	56.4%	54.0%	53.7%	20.0%	12.0%	18.5%	21.8%	32.0%	25.9%
出版・報道・広告	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	38.5%	23.1%	20.0%	15.4%	23.1%	46.7%	46.2%	53.8%
情報・通信	1.4%	1.6%	2.9%	52.1%	54.7%	48.6%	29.6%	17.2%	25.7%	16.9%	26.6%	22.9%
サービス	3.5%	4.5%	3.8%	51.3%	50.5%	53.8%	16.5%	13.5%	10.6%	28.7%	31.5%	31.7%

【業種別】07卒新卒および中途の採用予定

	採用数を満たす ために基準を見 直し、柔軟に対 応する	たとえ採用数に 満たなくても求 める人材レベル は下げない	未定 (その時の状況 による)	中途採用から 補充する	第二新卒から 補充する	留学生から 補充する	正社員採用以 外から補充する	新たな補充は 考えない
【文科系】								
メーカー	10.2%	62.0%	27.8%	51.6%	17.0%	5.9%	9.0%	36.7%
商社	6.9%	57.5%	35.6%	27.7%	14.9%	8.5%	10.6%	46.8%
百貨店・スーパー・専門店	12.1%	58.2%	29.7%	64.0%	10.0%	0.0%	40.0%	22.0%
金融	1.8%	49.1%	49.1%	48.1%	22.2%	7.4%	33.3%	25.9%
建設・不動産	17.0%	53.2%	29.8%	44.0%	12.0%	0.0%	12.0%	48.0%
出版・報道・広告	0.0%	75.0%	25.0%	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%	33.3%
情報・通信	12.1%	63.8%	24.1%	43.2%	10.8%	10.8%	8.1%	45.9%
サービス	10.4%	62.3%	27.4%	54.7%	18.8%	3.1%	21.9%	26.6%
【理科系】								
メーカー	9.1%	63.8%	27.2%	56.8%	16.1%	5.5%	8.5%	34.2%
商社	4.1%	56.2%	39.7%	35.9%	15.4%	5.1%	10.3%	43.6%
百貨店・スーパー・専門店	12.8%	56.4%	30.8%	65.0%	10.0%	0.0%	37.5%	22.5%
金融	2.2%	43.5%	54.3%	55.0%	25.0%	10.0%	25.0%	35.0%
建設・不動産	17.0%	54.7%	28.3%	50.0%	10.7%	0.0%	17.9%	39.3%
出版・報道・広告	0.0%	75.0%	25.0%	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%	33.3%
情報・通信	9.5%	68.3%	22.2%	43.9%	12.2%	12.2%	9.8%	43.9%
サービス	11.1%	60.6%	28.3%	48.3%	19.0%	1.7%	20.7%	31.0%